



こんにちは

早いようで、もう新年度です。寒さが和らいで行くと共に、コロナも収束してほしいですね。

ろくぶんの
ろく

通学路の思い出は？

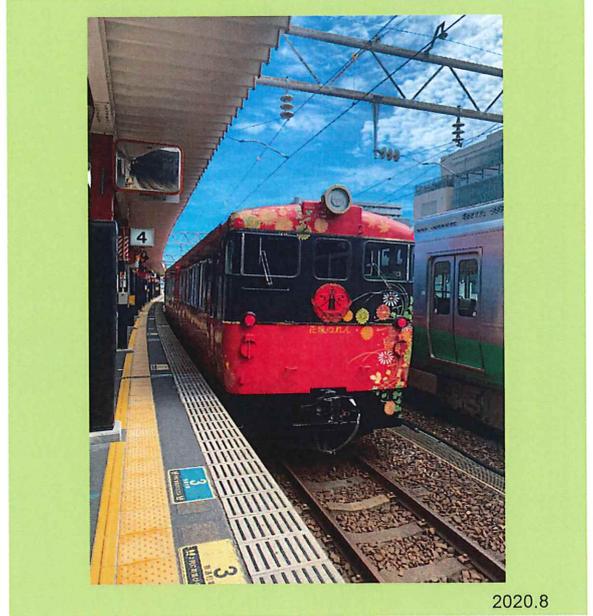
 社長	中学生の時は、ぎりぎり徒歩通学エリアで歩くと30分かかったので…隠れてちよいちよい自転車通っていました。
 常務	小学校まで100m「ママと遊ぼうピンポンパン」を見てからダッシュで行ってました。帰りは寄り道もできなくて残念...
 小坂	小、中は徒歩。高校はバス... 電車好きとしては、電車通学にとっても憧れました。
 金岩	夏の晴れた日に「狐の嫁入り？」が近づいて来るのに遭遇。結局すぶぬれ(泣)
 平木	小学校の頃は道端に生えているカラスノエンドウで草笛を吹いていました。今ではどうやって吹いていたのか、さっぱり思い出せません。
 山崎	小学生・中学校の9年間は、徒歩通学だった為高校生になり自転車通学になった時は、とても快適だったのを覚えています。

私が撮った一枚 My Photo

マイ
フォト

Title: 花嫁のれん

Photo by 平木



2020.8

花嫁のれんに乗って和倉温泉へ行った時の写真です。加賀友禅や輪島塗をイメージした列車は、外観はもちろん内装もとても素敵でした♪

お風呂のお話し

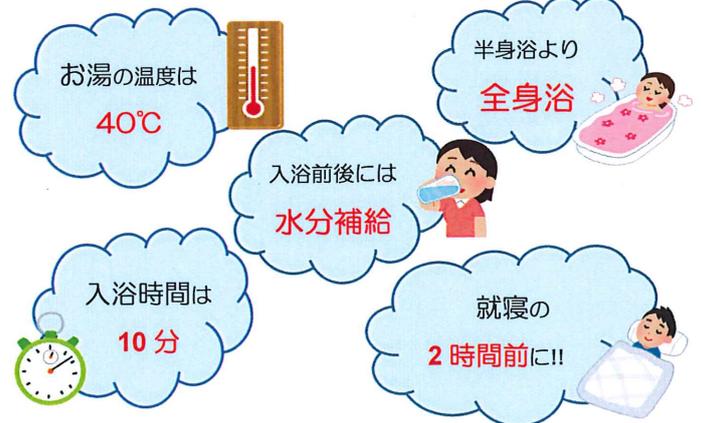
4/26は、4(まい)26(風呂)の語呂合わせで「よい風呂の日」です。他にも、お風呂に関する記念日がたくさんあります。世界的にも言われていますが日本人がお風呂好きの表れでしょう。お風呂は、6世紀頃に仏教が伝来すると共に、中国から伝わってきたと言われています。昔は、蒸し風呂(現代のサウナの様なもの)が主流で、明治時代の初め頃に、今の様な湯舟に浸かる形式が浸透し始めました。昭和30年頃に、内風呂が普及するまで銭湯を利用していたそうです。お風呂に入り、ゆっくりと

“疲れを癒す習小費”には、歴史があるようです。入浴は、身体に良いことに間違いありませんが、ベストな入浴方法を言周べてみました。

時代によって変化して来ていますが...

ベスト入浴方法とは!?!?

※独自調べ※





知ってる!?

おもな日本三大〇〇

今回のテーマ

日本三名城



大阪府

『大阪城』



1583年、当時“天下統一”を目指した豊臣秀吉によって築城。別名「錦城」



愛知県

『名古屋城』



1610年、徳川家康が築城。大棟上のシャチホコで有名



熊本県

『熊本城』



1607年、加藤清正が築城。城内に植えた木にちなんで、別名「銀杏城」

※定義により別諸説あり※

みゆ耀令の Happy 誕生日占い

あなたの4月の運勢

1月生まれ	普段落ち着いている人が軽率な行動をしがちな月。心を十分落ち着かせて
2月生まれ	共感し合える人と快適に親交できそう。でも似た者同士で小さい世界作らないで
3月生まれ	小さなズレが必要以上に気になって停滞しがち。全体を見るように意識していて
4月生まれ	これで行くと決めたら攻めの姿勢で進めてみよう。ひるんだらもったいない月
5月生まれ	目に飛び込んでくる情報に敏感になってみよう。貴重なヒントが多くありそう
6月生まれ	新しいことに着手するのに良い月。後押しとなる状況や変化がありそう
7月生まれ	今起きた問題は今月中に処理。完全な解決が無理でもできるだけ残りを少なく
8月生まれ	思わぬトラブルが降りかかるかも。じっくりと正確に見て冷静に対処
9月生まれ	拒否したくなるようなことがありそう。聞く耳を持たない態度にならないよう柔軟に
10月生まれ	穏やかに物事を進められそう。ノンキになり過ぎてピンチを軽視しないよう注意
11月生まれ	経済問題の好転に期待できる月。苦勞してきたことが実ったり報われたりしそう
12月生まれ	転んでもタダでは起きないパワーがある月。失敗を恐れずに積極的に進めよう

今月のラッキーさんは、5月生まれの方です☆(*´▽`)ﾉ♪

読者の方にお試し価格で鑑定！ 20分 2,000円より

連絡先：090-2099-9318 myk1124jp@yahoo.co.jp

◇Yのりれき◇

原始時代、男は外へ猟に出て獲物を捕らえてくる。女は家族の為にそれを調理していた。時代を過ぎても基本は変わらない。スポーツを一九四五年(昭和二十年)日本国が第二次大戦終戦の年に当てる見よう。それまで戦争の物資を使い果たして来た国、国民は塗炭の苦しみ味わい疲弊しきつて来た。当時九歳だったYの家族は、父(三十九)・母(三十二)・長男(十二)・三男(八)・妹(五)・四男(一)の七人家族であった。

昭和十九年と二十年は戦争そして終戦で、社会も政界も混乱していた。当時父は無論無職の身であった。そんな中であつた昭和十九年の大晦日の晩に、形だけでも鏡餅を作らねばと、夏の盆に母の里(富山県の山間農家)へ、父がお墓参りに行った時に頂いて大切に閉まっていたもち米を、炊いて「すりこぎ」で搗いて「しゃもじ」でこねて、鏡餅を作ってみた。しかし、いかにせん水気が多いので、お好み焼きみたいにペシヤンコにしかならなかつた。工夫して四センチ巾の紙で大小の輪っかを作り、そこへ「すりこぎ」で搗いた餅を流し入れ、冷めて固くなるまで一晩置くこととなつた。当時の主食と言え、さつま芋やじゃが芋等であつたので、代用餅の出来る事がどんなに待ち遠しかったことか。いつまでも忘れられない思い出である。

Yが父の姿で記憶があるのは、六・七歳の頃であつたらうか、それは祖母が亡くなった時のことで、今で言う家族数人の「家族葬」みたいであつたと記憶に残っている。霊柩車に父一人が助手席に同乗し、火葬場へ向かい、帰りは骨壺を抱いて帰つて来た姿が記憶に残っている。父は妹二人の三人兄妹であつた。それが父の代になつて、男四人・女一人の子持ちになつて賑わしく楽しかつただろうなと勝手に思い出している。好きなお酒も春秋のお祭りやお盆、お正月にしか口にしなかつた。母から二合徳利を持たされて近くの酒屋へ買いに行くのが、次男Yの役目であつた。それには事情が有つて、長男は軽度の小児マヒで晩年まで臨時雇用者であつた。三男はYの一歳年下であつたがおとなしいので、「ついでY、お前を動かして来た」と母に言われたことがあつた。

発行元：株式会社健工舎イガワ

〒921-8164 金沢市久安4丁目17番地
TEL 076-242-3910 FAX 076-242-3915



いー家じっくり

HP いーじホーム

HPも見てね



今月のひとりごと

初めまして。前号でお知らせしました通り、この度前任 三谷 の代わりに担当することになりました 山崎 です。初めてのことで至らないこともあるかと存じますが、精一杯努めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

山崎

